

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	構造ヘルスマニタリング小委員会		主 査 名：西村 功 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：宮本裕司
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・2010 年度 諸外国の動向と我が国の技術展望 ・2011 年度 適応できる技術範囲の特定 ・2012 年度 具体的なモニタリングデータの利用に関する提言 ・2013 年度 構造ヘルスマニタリング技術の将来展望に関する提言 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：西村 功 (東京都市大学) 幹事：酒向裕司 (小堀鐸二研究所)、吉元怜毅 (三菱総合研究所) 委員：岡田成幸 (北海道大学)、風間宏樹 (日建設計)、曾根孝行 (竹中工務店)、 近藤智佳子 (IHI)、佐藤貢一 (大成建設)、薛 松濤 (東北工業大学)、 中村 充 (大林組)、肥田剛典 (東京理科大)、三田 彰 (慶応義塾大学)、 森田高市 (建築研究所)、渡壁守正 (戸田建設)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	来年度開催を予定しているシンポジウムに向け、構造ヘルスマニタリング技術が耐震構造の性能評価と性能向上に果たすべき役割について議論を重ねた。
委員会活動の問題点 ・ 課題	4 年間の委員会活動を総括し、今後のモニタリング技術の方向性をまとめる計画であったが、実現できなかった。今後の課題は、地震時における建物応答データと解析予想との相違について、観測データを公開して議論できる社会環境の整備にある。